



TITLE:

表紙・まえがき・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・まえがき・目次. 京都大学附置研究所・センターシンポジウム:
京都からの提言-21世紀の日本を考える (第8回) 「科学が見いだす日本の
進路」 2014, 8

ISSUE DATE:

2014-03-14

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/187740>

RIGHT:



新たな知の
地平を拓く

京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University

京都大学附置研究所・センターシンポジウム

京都からの提言

21世紀の日本を考える(第8回)

「科学が見いだす日本の進路」

日時

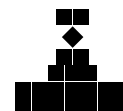
平成25年3月16日土
10:00~17:15

場所

北海道立道民活動センター
「かでる2・7」かでるホール

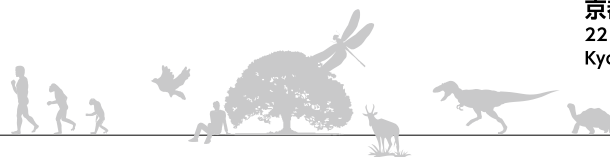
- 主 催：京都大学附置研究所・センター
- 後 援：読売新聞社、北海道大学

報告書



新たな知の
地平を拓く

京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University



京都大学附置研究所・センターシンポジウム

京都からの提言 — 21世紀の日本を考える(第8回)

報告書

科学が見いだす日本の進路



京都大学「京都からの提言」事務局

まえがき

京都大学の22の附置研究所・センターが協力して、読売新聞社並びに北海道大学の後援の下、第8回京都大学附置研究所・センターシンポジウム『京都からの提言－21世紀の日本を考える』を平成25年3月16日に札幌市・北海道立道民活動センター「かでる2・7」かでるホールにて開催しました。本報告書はその記録をまとめたものです。

今回は、「科学が見いだす日本の進路」をサブテーマとし、2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木 章北海道大学名誉教授に科学を学ぶことの重要性を会場の若者を中心に説いていただき、京都大学基礎物理学研究所からは宇宙論、霊長類研究所からは霊長類の進化、ウイルス研究所からは脳における神経細胞の役割、原子炉実験所からは中性子線によるがん治療について、4研究所の教授にそれぞれ講演をお願いし、この方々に当時の基礎物理学研究所長、北海道大学数学連携研究センター長、読売新聞大阪本社編集局科学部長の方々を加えて「科学が見いだす日本の進路」のパネル・ディスカッションを行い、科学における基礎研究が技術革新を起こし、また社会を支える基礎研究の重要性を提言しました。

前日からの積雪にもかかわらず、485名の方に参加いただき、会場はほぼ満席となり、関係者は何とか責任を全うすることができたのではないかと安堵した次第です。国立大学への運営交付金が年々削減されるという厳しい状況の中で、引き続き全学経費としてシンポジウムの開催を財政的にご支援いただいた総長のご配慮に心より感謝いたすとともに、読売新聞大阪本社並びに各研究所・センターから財政面でのご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、京都大学には学術上極めて特徴のある附置研究所・センターが存在し、それが京都大学における教育研究に彩りを添え、自由な学風に支えられた創造性豊かな学術の礎となり、ノーベル賞受賞者の輩出にも繋がっていると確信しております。そして附置研究所・センターが取り組んでいる基礎研究や先端的学術研究の成果の一部を『京都からの提言－21世紀の日本を考える』という形で社会に発信する本シンポジウムの継続・発展を心から願ってやみません。

最後に、当日、ご登壇いただいた総長首席学事補佐、講師各位、コーディネーター・ゲストパネラー各位、熱心にご清聴いただいた参加者各位、シンポジウム開催に当たってご協力いただいた北海道大学、北海道京大会及び北海道教育委員会の関係各位、並びに京都大学附置研究所・センターの関係教職員及び読売新聞大阪本社の関係各位に厚く御礼申し上げます。

京都大学基礎物理学研究所長 佐々木 節

目 次

まえがき

開会の辞	京都大学総長 松本 紘	1
歓迎の挨拶	北海道大学総長 佐伯 浩	3
講 演 1	宇宙のはじまり	7
	基礎物理学研究所教授 田中 貴浩	
講 演 2	過去から学ぶヒトの未来：環境変動と霊長類の進化	21
	霊長類研究所教授 高井 正成	
講 演 3	科学を学ぶことの重要性	41
	2010年ノーベル化学賞受賞 北海道大学名誉教授 鈴木 章	
講 演 4	大人の脳で新たに生まれる神経細胞とその不思議な役割	53
	ウイルス研究所教授 影山龍一郎	
講 演 5	がん細胞を狙い撃ち—中性子捕捉療法	69
	原子炉実験所粒子線腫瘍学研究センター長・教授 小野 公二	
パネル・ディスカッション		
科学が見いだす日本の進路		87
	ゲストパネリスト：津田 一郎（北海道大学数学連携研究センター長・電子科学研究所教授） 常松 健一（読売新聞大阪本社編集局科学部長）	
	パネリスト：田中 貴浩（京都大学基礎物理学研究所教授） 高井 正成（京都大学霊長類研究所教授） 影山龍一郎（京都大学ウイルス研究所教授） 小野 公二（京都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター長・教授）	
	コーディネーター：九後 太一（京都大学基礎物理学研究所長・教授）	
閉会の辞	京都大学数理解析研究所長・教授 森 重文	109

〔資料〕 案内チラシ

平成25年4月6日付け 読売新聞記事（大阪本社発行）

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

京 都 か ら の 提 言

21世紀の日本を考える(第8回)

「科学が見いだす日本の進路」

— 報 告 書 —

発 行 日 平成 26 年 3 月 14 日

編集・発行 京都大学基礎物理学研究所総務掛
京都大学「京都からの提言」事務局

住 所 〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町

T E L 075-753-7003

印 刷 所 (株)双林印刷社

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
「京都からの提言－21世紀の日本を考える」

- 第1回 平成18年3月16日(木) 10:00～17:30
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「危機をいかに乗り切るか? 東アジアといかに向き合うか?」
- 第2回 平成19年3月17日(土) 10:00～17:00
大阪・エルおおさか(大阪府立労働センター) エル・シアター
サブテーマ:ノーベル物理学賞受賞者「湯川・朝永両博士が拓いた世界」
～湯川・朝永両博士 生誕百年に因んで～
- 第3回 平成20年3月8日(土) 10:00～17:15
横浜・新都市ホール
サブテーマ:「人間と自然:新たな脅威と命を守るしくみ」
- 第4回 平成21年3月14日(土) 10:00～17:25
名古屋・名鉄ホール
サブテーマ:「学問のつながりのユニークさ:それがつくる明るい未来」
- 第5回 平成22年3月13日(土) 10:00～17:15
福岡・アクロス福岡
サブテーマ:「グローバル社会に生きる一未来を見据える目」
- 第6回 平成23年7月3日(日) 10:00～18:00
京都・京都大学時計台百周年記念ホール
サブテーマ:「混沌の時代に光を探る」
- 第7回 平成24年3月17日(土) 10:00～17:00
神戸・神戸国際会議場メインホール
サブテーマ:「明るい社会の未来像」



新たな知の
地平を拓く

京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University



京都大学 附置研究所・センター

化 学 研 究 所
人 文 科 学 研 究 所
再 生 医 科 学 研 究 所
エ ネ ル ギ ー 工 学 研 究 所
生 存 圏 研 究 所
防 災 研 究 所
基 礎 物 理 学 研 究 所
ウ イ ル ス 研 究 所
経 済 研 究 所
数 理 解 析 研 究 所
原 子 炉 実 験 所
霊 長 類 研 究 所
東 南 ア ジ ア 研 究 所
i P S 細 胞 研 究 所
放 射 線 生 物 研 究 セ ン タ ー
生 態 学 研 究 セ ン タ ー
地 域 研 究 統 合 情 報 セ ン タ ー
学 術 情 報 メ デ ィ ア セ ン タ ー
フ ィ ー ル ド 科 学 教 育 研 究 セ ン タ ー
こ こ ろ の 未 来 研 究 セ ン タ ー
野 生 動 物 研 究 セ ン タ ー
物 質 - 細 胞 統 合 シ ス テ ム 拠 点